

2021年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（前期）

試験区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般入試 <input type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input checked="" type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（ 日本史学 ） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	本研究科修士課程において日本史学を専修する際に必要である、日本史学に関する知識ならびに史料読解力を問う出題とした。「問題Ⅰ」は、日本史を貫く重要なテーマに関する知識と見解とを論述形式で解答させるもので、受験者の問題関心および論理構成力を見る設問である。「問題Ⅱ」は、前近代もしくは近現代に関する問題のうちいずれかを選択して解答させるもので、受験者の専攻する時代における史料読解能力を見る設問である。

2021年度
北海道大学大学院文學院修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 日本史学 全5枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 5枚、解答用紙 2枚を配付する。

【問題の構成】

- ①全2問。問題Ⅰと問題Ⅱとから成る。
- ②問題Ⅰは共通問題である。受験者は、全員、この問題に答えなさい。
- ③問題Ⅱは選択問題であり、AとBとから構成される。大学院入学後に古代・中世・近世を専攻する受験者はAを、近代・現代を専攻する受験者はBを選択し、問題に答えなさい。

【解答用紙の使用方法】

解答は、問題Ⅰと問題Ⅱとについて、それぞれ別々の解答用紙に記入すること。

.....

問題Ⅰ

国家の対外戦争が社会に与える影響について、日本史上の具体的な戦争の事例を挙げ、戦争前の社会の状況やあり方にも言及しつつ、論述しなさい。

問題Ⅱ **A** 次の【史料一】・【史料二】を読んで、下記の設問(問1～9)に答えなさい。なお、出題の都合上、一部、史料の美記を改め、省略したところがある。

【史料二】

左弁官下東寺

① 心早進上丹波国寺領免田本公驗事

右② 権大納言源朝臣經長宣③ 奉 勅件本

公驗宣仰彼寺早令進上④ 智寺宣承知依

宣行之

延久元年十月一日 大史小槻宿祢(花押)

右中弁藤原朝臣(花押)

(『東寺百合文書』ま函四一二号文書。東寺百合文書WEB参照)

問1 (一) 傍線部①を、古文書学では何とよぶか、答えなさい。

(二) 傍線部①を、旧仮名遣いで読み下しなさい。

問2 傍線部②の人物は、太政官の当該政務の担当公卿である。通常、何とよばれていたか、答えなさい。

問3 傍線部③・④を、それぞれ旧仮名遣いで読み下しなさい。

問4 延久元年(一一六九)には、免田(荘園の一形態)に関する重要な法令が出された。それゆえ、「本公驗」に関する本文書が作られたといえる。その法令の内容について知るところを述べなさい。

問5 その後、ここに見られるような免田は、やがて大規模な中世荘園へ変貌をとげる。どのような変化がどのようにして起こったのか、知るところを概略述べなさい(鎌倉時代前期までを説明すればよい)。

【史料二】

- (1) 一、近年唐船漂流之沙汰無之候得共、打払之儀^⑤弥以前々申達候通、別て無油断可被相心得候、
- (2) 一、唐船漂流之^⑥刻、^⑦抜買筋之船ニ^⑧相見え申候ハ、打払之儀^⑨兼て申達候通可被心得候、^⑩併打払候ても出帆不仕候ハ、船具等ニても打損し、出帆難成儀も難計候間、左様之節は、二三日も様子見合、船をよせ、弥船具等を損し、出帆難成趣ニ候ハ、Xえ送り候様可被仕候、
- (3) 一、打払之刻出帆仕候ハ、先達て申達候通、打払之儀見合、尤少々は追掛ケ、長く追懸ケ申儀は無用ニ可被致候、

以上

九月

松平出羽守

松平大隅守

〔以下十三名省略〕

(九州・中国地方の十五ヶ国大名に対して発布された、享保十一年九月の幕府法令。
引用は、『御触書寛保集成』岩波書店、一九三四年、九七八頁(一九七四号文書))

- 問6 傍線部^⑤「弥以」・^⑥「刻」・^⑧「相見え」・^⑨「兼て」・^⑩「併」のよみをひらがなで書きなさい。
- 問7 傍線部^⑦「抜買」とは何か、知るところを述べなさい。
- 問8 第(1)条・第(2)条ともに、波線部「唐船漂流」に対する打ち払いの方法や心構え、実施の程度を問題にしている。第(3)条も含め、まずその内容について略述整理しなさい。そしてその前提となる、「唐船漂流」の実態に関する幕府の想定内容を説明しなさい。
- 問9 空欄Xに入る地名を答えなさい。

問題Ⅱ **B** 次の【史料一】・【史料二】を読んで、設問(問1～7)に答えなさい。なお、出題の都合上、一部、史料の表記を改め、省略したところがある。

【史料一】

夫レ琉球ハ独立セシム可シ、琉球ヲ独立セシムルハ有道ノ事ニシテ開明ノ義ニ進ムモノナリ。(中略)今ニシテ琉球ヲ独立セシムルカ如キハ、実ニ天下ニ立テ義ヲ示スモノニシテ、世界ノ儀則ト為サシムルニ足ルベク、今ニシテ之ヲ行フハ、我レ先ツ同等主義ヲ重ンスルノ端ヲ開クモノニシテ、後来^①獨開明ノ進ムニ随ヒ益々同等主義ヲ施行スルノ馳驅ヲ付クルモノト云フヘク、今ニシテ之ヲ行フハ、我先ツ自ラ同等主義ヲ重ンシテ^②然後^③他ヨリモ亦我ニ向テ同等主義ヲ重ンセシムルノ道ト云フベク、何ニシテモ後来ノ為メニ慮テ可ナル所ノモノナリ、不可ナル所ニハアテサルナリ。

蓋シ之ヲ察スルニ、所謂琉球ノ如キハ、世界ノ各国ニ較ヘテ^④其地大ナルコト能ハス、其人多キコト能ハス、(後略)

(「琉球ノ独立セシム可キヲ論ス」『愛国新誌』第二六号、一八八二年三月六日。引用は、『明治文化全集』第一四卷、日本評論新社、一九五六年、一八三～一八四頁)

問1 【史料一】の筆者は琉球の独立を認めるべきだと主張しているが、実際には琉球は日本に領有された。その政治過程を表す語句を書きなさい。

問2 傍線部①・②・④をひらがなで書きなさい。

問3 傍線部③について、

- (一) 筆者は、日本が列強と「同等主義」に反する関係にあることを想定していると考えられる。その関係・状況について、具体的な事項を挙げつつ、簡潔に説明しなさい。
- (二) 日本政府は列強に「同等主義」を適用してもらう目的で、ある政策を行った。その政策について簡潔に述べなさい。

【史料二】

世間の人は満州や朝鮮に事があれば、直ぐに戦争くと怒鳴り出して、兵を出すことが日本人の理想であるかの様に思つて、魯国征伐を唱へる。そして此の征伐論の尻馬に乗つてガア／＼開戦論を騒がぬ者は、卑怯な臆病な愛国心のない弱虫のやうに云はれる。だから何人も弱虫と云はれまいと思つて、皆んな⑤開戦論を主張する。少くとも反対をする者はない。

然し乍ら戦争は果して開始すべきものである乎。若し戦争をしなければならぬものならば、それは実に国家人民全体の運命、生活、進歩、幸福に重大の関係あるものである。で、我々は社会主義者の立場からして、此の⑥日魯戦争論なるものを観察してみやうと思ふ。

人間と人間とが喧嘩することが悪事であるならば、国と国とが喧嘩する戦争も亦悪い事であるに相違ない。昔しの人のお話にも「兵は凶器也」といふことがある。兵は人の命を奪ひ、財産を失ひ、多数人民の進歩、幸福を傷ける、其損害は実に大なるものである。

(中略)

一体、戦争は断して煽動すべきものでない、近い例は日清戦争にある。日本人は⑦日清戦争に苦しい経験をしたことをモウ忘れて終つた様だが、アノ戦争はどういふものであつたかといふに、朝鮮の独立を助け、支那の暴を懲らすといふのが目的で、所謂仁義の戦争で、世の人の嘆美した所であつた。然し矢張り理屈の上からいへば斯る立派な戦争であつたにも拘はず幾多の兵士は其犠牲に供せられ⑧若い労働者の子、百姓の子は殺された、前途有望な身を以て国家の為めに其楽しい生涯を棄ててしまつた、後に遺された家族の悲嘆や酸鼻の境遇や、耕やす人を失つた田地の荒廢、富を不生産的に濫費した事は実に大なるものである。日本の国家は重大なる損害を蒙つたのである。

(出典は省略)

問4 傍線部⑤について、

- (一) 筆者は、当時流行した「開戦論」に対して「非戦論」を唱えた人物である。その人物を含めて、代表的な非戦論者の名前を二つ書きなさい。
- (二) この文章の筆者が逮捕され、死刑になった事件の正式名称を書きなさい。

問5 傍線部⑥について、

- (一) 「日魯戦争」の講和条約名を書きなさい。
- (二) 日露戦争の後の約六年間の日本対韓国の関係の展開を簡潔に説明しなさい。

問6 日本は、傍線部⑦の日清戦争で獲得した地域を手放すことになった。その経緯を表す歴史用語と、手放した地域名を、それぞれ書きなさい。

問7 傍線部⑧の背景となつている制度とその問題点について、簡潔に説明しなさい。